

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

2024年度 GHひなた

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の玄関に掲示しており、毎日の申し送り時間に業務の確認を行い、個人の一日の目標を伝えあい職員同士の共有を図り、取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この地域の自治会に加入している。コロナの影響で行事などには参加は出来ていないが、地域の方との挨拶や回覧板を届けることを利用者と一緒に行う等して、今できる事への取り組みをおこなっている。	行事に参加できていない理由としてコロナなどの感染症が原因としてあげられる。感染状況をみながら無理なく行事を行っていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、ホームでの利用者や行事などの状況報告を行っている。委員の方からの意見も頂き報告書にてスタッフにも共有を図っている	評価はAでいいのではないかと話しを聞いてなごみは十分できていると思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の長寿介護課や福祉課の生活保護担当者等と必要に応じて連絡をとり相談など行っている。事故報告書などの作成にも状況を確認して作成を行っている。	このままでいいのではないのでしょうか。職員間で共有はできているのか？申し送りノートや会議を行うことで共有できている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束の内容を理解し、玄関の施錠は起床から就寝時間までの開錠を行い、言葉使いやケアの確認などを行い自分たちでも注意している。帰宅欲求が強い方への対応はスタッフ皆で取り組むようにしている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分できていると思う。このまま続けてほしい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待については、日頃からのケアに注意し、不適切なケアのないように注意を払っている。声掛けが激しくなる時もあり、スタッフでお互いに注意し日頃の接遇を振り返るようにしている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアが一つの引き金になり得る。接遇も見直す事も必要ですね。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職した時に代表から研修を受けるが、月日が立つ事で忘れてしまうので、継続して研修等の学ぶ機会が必要だと思う。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の契約書の説明と重要事項説明書の説明を行っている。報酬改定やホームの体制などに変更があったときは説明し同意を得ている。今年度は契約についての内部研修を行う。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族には面会時などに意見や要望を伺っている。毎月ホームでの様子をお手紙と写真を送るようにしている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分にできていると思う。このまま続けてほしい。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者のもと、職員間のコミュニケーションは出来ている。ケアの取り組みもスタッフ同士意見を出し合い、職員会議や申し送りノートを使用して周知している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者会議、職員会議での話し合いの中で代表から話を聞くことができ、職員の意見や以降を聞き入れ、理解して頂いている。労働条件や休み希望など職員にとって働きやすい環境である。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なかなか皆集めて会議をすることが難しい中十分にできていると思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員に希望を聞き受けたい研修に参加してもらっている。今年度も開催できる研修への参加を検討して頂いている。リモート研修での参加も増えてきた。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全ての職員への共有は難しいと職員からあったが十分にできていると思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在もコロナの影響でなかなか同業者との意見交換ができない状況もあるが、今後も地域とのネットワークを作るためにも継続して繋がりを持っていきたい。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様を理解するために、寄り添いながらケアに努めている。家族や身の回りの事などは無理のないようにして頂いている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ過で馴染みの方との面会など難しい状況であったが、現在感染対策をおこない時間制限などはあるが面会など行なえるようになっている。	できる事をこのまま続けてほしい。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者とのコミュニケーションを大切に希望や思いが聞けるようにしている。対応できることはすぐに対応し、難しいことは検討して対応している。今後も利用者との何気ない会話やゆっくり話す時間を持っていきたい。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の職員会議で担当者から支援引継ぎとの事で現状と課題などを一人一人上げて頂き、話し合っている。内容についても全スタッフで情報の共有を行いながら検討して介護計画作成に活かしている。	分かりやすくていいと思う。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族にも共有できていていいと思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ間での情報交換や申し送りノートの活用、個別の記録等でケアの共有をしている。時々、職員間での情報交換が出来ていないこともあるので、出勤時や退勤時に申し送りの確認をするようにしていきたい。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分にできていると思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状況が日々で変わることがあり、朝、夕のミーティングにて情報交換を行っている。また、緊急時のショートステイを受け入れるように対応している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防の観点から地域の方々とのかわり合いは難しい状況である。今年も夏祭りを開催できるか未定であるが準備は進めていく。	地域の方々とのかわり合いは今は難しいが地域などとの関係性などは今後も続けてほしい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医は異なりますが、家族の方にも相談し受診が出来るように支援をしている。また、必要に応じて訪問診療や訪問看護利用などを受け入れてできる事の支援を行っている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の情報提供を行い、入院後に安心した治療ができ、早期の退院を目指して病院との連携を図っている。家族の思いを尊重しながらできる事の支援を行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院中の情報などは必ずご家族に報告している。十分できていると思う。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の思いを確認して、Drと相談してGHでの看取りケアを検討し、対応している。スタッフも統一したケアに向けて、臨時の職員会議を行いホームでの支援を話し合っている。また、不安に思うことも話の中で出すようにしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期のカンファレンスも行っている。十分できていると思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応には誰でも不安を抱えているが、落ち着いて発生状況を確認する。応援が必要な場合にはほかの部署や代表への連絡体制をとる事になる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の総合防災訓練を実施している。現在コロナのこともあり地域の方々との訓練は出来ていないが協力体制は出来ている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なごみとひなたの自己評価の間をとってB評価でいいと思う。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	どちらも十分できていると思う。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない				

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ ほとんどできていない				
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない				
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない				

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者 1 人 1 人にあった出来ることを見つけ、家事手伝いやレク活動、おやつ作りなど無理なく支援をしている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様から昔の話や仕事の話など尋ねると生き生きと話をされる。また、スタッフから利用者への問いかけに話をされることもあるので、内容にも注意している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防のため地域の方々との交流は現在も中々出来ていないが、GH などみやデイサービスの方との交流をしている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフの共有支援により、利用者様が毎日、安心して生活が出来るように思われる。時々、感情が出て落ち着かないときは寄り添い話を聞いているが、ほぼ穏やかに過ごされている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 2024 グループホームなごみ

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容
I.理念・安心と安全に基づく運営					
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の玄関に掲示しており、毎日の申し送り時間に業務の確認を行い、個人の一日の目標を伝えあい職員同士の共有を図り、取り組んでいる。	
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この地域の自治会に加入している。コロナの影響で行事などには参加は出来ていないが、地域の方との挨拶や回覧板を届けることを利用者と一緒に行う等して、今できる事への取り組みをおこなっている。	行事に参加できていない理由としてコロナなどの感染症が原因としてあげられる。感染状況をみながら無理なく行事を行っていく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、ホームでの利用者や行事などの状況報告を行っている。委員の方からの意見も頂き報告書にてスタッフにも共有を図っている	評価はAでいいのではないかと話しを聞いてなごみは十分できていると思う。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の長寿介護課や福祉課の生活保護担当者等と必要に応じて連絡をとり相談など行っている。事故報告書などの作成にも状況を確認して作成を行っている。	このままでいいのではないのでしょうか。職員間で共有はできているのか？申し送りノートや会議を行うことで共有できている。

5	身体拘束をしない ケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具 体的な行為」を正しく理解しており、玄関の 施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り 組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束の内容を理解し、玄関の施錠 は起床から就寝時間までの開錠を行い、 言葉使いやケアの確認などを行い自分 たちでも注意している。帰宅欲求が強い 方への対応はスタッフ皆で取り組むよう にしている。		☒ A. B. C. D.
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待については、日頃からのケアに注 意し、不適切なケアのないように注意を 払っている。声掛けが激しくなる時もあり、スタッフでお互いに注意し日頃の接遇 を振り返るようにしている。		☒ A. B. C. D.
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事 業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職した時に代表から研修を受けるが、 月日が立つ事で忘れてしまうので、継続 して研修等の学ぶ機会が必要だと思う。		
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図ってい る	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の契約書の説明と重要事項説 明書の説明を行っている。報酬改定やホ ームの体制などに変更があったときは説 明し同意を得ている。今年度は契約につ いての内部研修を行う。		
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族には面会時などに意見や要望 を伺っている。毎月ホームでの様子をお 手紙と写真を送るようにしている。		☒ A. B. C. D.

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者のもと、職員間のコミュニケーシ ョンは出来ている。ケアの取り組みもスタ ッフ同士意見を出し合い、職員会議や申 し送りノートを使用して周知している。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心を 持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者会議、職員会議での話し合いの 中で代表から話を聞くことができ、職員 の意見や以降を聞き入れ、理解して頂い ている。労働条件や休み希望など職員に とって働きやすい環境である。		Ⓐ. B. C. D.
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員に希望を聞き受けたい研修に参 加してもらっている。今年度も開催できる 研修への参加を検討して頂いている。リ モート研修での参加も増えてきた。		Ⓐ. B. C. D.
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在もコロナの影響でなかなか同業者 との意見交換ができない状況もあるが、 今後も地域とのネットワークを作るため にも継続して繋がりを持っていきたい。		
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様を理解するために、寄り添い ながらケアに努めている。家族や身の回 りの事などは無理のないようにして頂い ている。		

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ過で馴染みの方との面会など難しい状況であったが、現在感染対策をおこない時間制限などはあるが面会など行なえるようになっている。	コロナ禍では、何もできないという感覚だったが、できることについてはこのまま続けてほしい。	
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者とのコミュニケーションを大切に希望や思いが聞けるようにしている。対応できることはすぐに対応し、難しいことは検討して対応している。今後も利用者との何気ない会話やゆっくり話す時間を持っていきたい。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の職員会議で担当者から支援引継ぎとの事で現状と課題などを一人一人上げて頂き、話し合っている。内容についても全スタッフで情報の共有を行いながら検討して介護計画作成に活かしている。	利用者のことは職員が一番知っているが、自宅で生活しているときの利用者は家族が一番知っているので、自宅でのことも含め、家族と情報の共有をしてほしい。	☒ A. B. C. D.
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ間での情報交換や申し送りノートの活用、個別の記録等でケアの共有をしている。時々、職員間での情報交換が出来ていないこともあるので、出勤時や退勤時に申し送りの確認をするようにしていきたい。		☒ A. B. C. D.

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状況が日々で変わることがあり、朝、夕のミーティングにて情報交換を行っている。また、緊急時のショートステイを受け入れるように対応している。	災害時や緊急時にショートステイの利用もあるが、その都度施設機能を生かす取り組みをしていることを継続してほしい。	
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防の観点から地域の方々とのかかわりは難しい状況である。今年も夏祭りを開催できるか未定であるが準備は進めていく。	地域の方々とのかかわりは今は難しいが地域などとの関係性などは今後も続けてほしい。	
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医は異なりますが、家族の方にも相談し受診が出来るように支援をしている。また、必要に応じて訪問診療や訪問看護利用などを受け入れてできる事の支援を行っている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の情報提供を行い、入院後に安心した治療ができ、早期の退院を目指して病院との連携を図っている。家族の思いを尊重しながらできる事の支援を行っている。		☒ A. B. C. D.
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の思いを確認して、Drと相談してGHでの看取りケアを検討し、対応している。スタッフも統一したケアに向けて、臨時の職員会議を行いホームでの支援を		☒ A. B. C. D.

				話し合っている。また、不安に思うことも話の中で出すようにしている。		
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応には誰でも不安を抱えているが、落ち着いて発生状況を確認する。応援が必要な場合にはほかの部署や代表への連絡体制をとる事になる。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の総合防災訓練を実施している。現在コロナのこともあり地域の方々との訓練は出来ていないが協力体制は出来ている。	災害対応のBCPを作成し、訓練や研修ができるように計画しているが、実際の場面では、計画通りできないこともあると思う。	A. B. C. D.
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の目線に合わせ、尊厳を守りながら声掛けを行っている。利用者へ分かりやすく、ゆっくりした声掛けをしているが、理解が難しく指示が通らなくなっている方もおり、その人に合わせて対応している。		A. B. C. D.
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームでのおおまかな時間の流れはできているが、1人1人のペースに合わせその人にあった過ごし方の支援を行っている。		

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者への嗜好調査を行い、メニューへの反映をしている。食事形態は、その人に合わせてキザミ食、ミキサー食、一口大の刻みなどして提供を行っている。食べるスピードもその方に合わせている。		Ⓐ B. C. D.
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事や水分量は毎食ごとに記録している。水分はお茶を好まない方には家族に相談して個々に対応しているが、飲用ができる工夫が必要である。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食ごとに口腔ケアを行っている。自分でできなくなってきた方への支援を行い、個々の対応を行っている。必要に応じて義歯が不具合などの時は訪問歯科の利用を行い口腔内の清潔に努めている。		Ⓐ B. C. D.
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立の方へは排泄の確認を行っている。尿漏れされる方の排泄パターンが難しいが声掛けにて誘導等行い対応している。リハビリパンツとパットを使用している。また、便秘傾向の方には排便状況を確認しながら下剤の調整を行っている。		Ⓐ B. C. D.
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は週6回実施している。利用者の方の体調などを考慮して対応している。入浴できない時は清拭更衣を実施します。時間は午後からとなっている。		

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前夜に睡眠不足の方には状況を みて、午睡などの対応を行う。 日中も傾眠傾向のある方は、 無理には起こさず声掛けを行 い状況判断している。また、 昼夜逆転にならない様にレク 活動や散歩など日中に行っ ている。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医から処方された 内服薬はファイルにとじ確認し やすい様にしている。服薬時 は確実な服用ができるように 個別で介助を行っている。		A. B. C. D.
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方でできる方、でき ない方がいらっしゃるので、 個々に合わせて家事ができる 方やレク活動が楽しめるよう におやつ作りなど取り入れて いる。皆で楽しめるよう雰囲 気作りに努めています。	毎月の行事を計画して実行す ることは大変な作業だが、利 用者が喜ぶことを率先して行 うことに意義があるのではない か。	
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において家族との 外出が出来ない期間が続いて います。ホームでできる事 としてドライブや散歩などを 取り入れてきました。季節折 々の花を見て楽しんでいただき ました。しかし、時間帯や雨 などで外にでられない時は 窓の外を眺めながら話を して気分転換に努めている。	季節行事や楽しみのあること を、毎月計画しており、と ても豊富な内容になっている。 これまでコロナ禍でできな かったことはやむを得ない と思う。	

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ ほとんどできていない	お金の管理は利用者本人ではなく家族の方で対応している。欲しい物や生活用品などの購入時は、家族に相談している。	
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ ほとんどできていない D. ほとんどできていない	本人の要望があれば電話をかけたり、家族からの連絡をつなぐようにしている。コロナ禍において面会ができずに、テレビ電話にて繋ぐ事にも対応している。届いた手紙は本人へお渡ししている。	
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	壁画や飾りを作り季節感を取り入れている。また、見やすい位置を考慮している。必要に応じて冷暖房の使用を行って対応している。食事のテーブル席やソファの座る位置などトラブルにならないように配慮している。	① B. C. D.
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)					
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の思いに添える様に支援しています。「ここはよかとこじゃ。」「安心する。」と笑顔で話される。利用者の個々に合わせて無理をしない生活ができる様に支援している。	

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の意向により沿いケアの支援を行っている。自分で伝えることができない方には家族に相談して介護支援を行っている。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル測定を行い、日々の体調変化や身体機能の変化を観察している。状況に応じて受診の検討や連絡などを行っている。いつもと違う状況の時は職員間で話しをして情報を共有している。		A. Ⓑ. C. D.
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の生活状況は違いがあり、皆で同じ事をするのは難しいので、利用者ができる限り自分のペースで生活ができるように支援を行っている。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に自宅で使用していたものや作ったもの、写真やメッセージなどを居室に掲示して、安心した生活が過ごせるような雰囲気作りを行っている。		Ⓐ. B. C. D.
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で地域の行事に参加ができない日が続いていますが、ホームでできる墓参りや神社参り、花見ドライブなどを実施している。(人混みが多い場所は避けている。)	コロナ禍では、地域の小中学校との交流や保育園製との交流ができなかったとのことだが、なごみ祭りは盛大にできており、十分に地域交流はできているのではないかと。	

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者 1 人 1 人にあった出来ることを見つけ、家事手伝いやレク活動、おやつ作りなど無理なく支援をしている。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様から昔の話や仕事の話など尋ねると生き生きと話をされる。また、スタッフから利用者への問いかけに話をされることもあるので、内容にも注意している。		A. Ⓑ C. D.
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防のため地域の方々との交流は現在も中々出来ていないが、GH なごみやデイサービスの方との交流をしている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフの共有支援により、利用者様が毎日、安心して生活が出来るように思われる。時々、感情が出て落ち着かないときは寄り添い話を聞いているが、ほぼ穏やかに過ごされている。	グループホームの利点を生かして、少人数の中でしっかり寄り添いながらの支援ができているのではないかな。	Ⓐ B. C. D.